

寄り添い つながる 広報誌

福祉 わかやま

7²⁰²³
月号
vol.430

この広報誌の発行に一部共同
募金配当金を利用しています。



今月の表紙

社会福祉法人
有田つくし福祉会
早月農園での作業風景
(P2~3に関連記事)



特集
P2-4

他業種 × 福祉

～新たな縁を紡いで～

県社協の情報など
SNSで発信中



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

他業種 × 福祉



～新たな縁を紡いで～



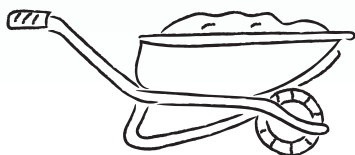
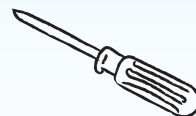
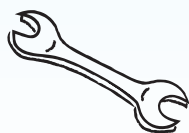
日本では、人口減少・高齢化が著しく進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤も弱まってきています。併せて、各産業の担い手が不足する一方で、福祉分野においては、障がいのある方々の働く機会創出が求められるなど、時代の変化に合わせた対応・施策が求められています。



昨今、従来の福祉分野での「縦割り」や「支え手」「受け手」といった制度を越えて、地方創生・まちづくり・教育など、福祉分野とは別業種と連携を図り、お互いが住みよい社会・持続可能な社会の実現に向けて歩んでいこうと様々な取組が行われています。



今号は、他業種×福祉というテーマで考察していきたいと思います。



地域で使われなくなった場所を再利用している一面にも、地域貢献への想いがうかがえます。



活気にあふれた旧校舎

平成24年に社会福祉法人有田つくし福祉会が開園した「早月農園」では、有田川町内の廃校舎と耕作放棄地を借り受け、栽培したミカンや野菜類を加工・出荷しています。



和気あいあいと作業が進む

農福連携とは、障がいがある方等働きづらさを抱える人達が、生産活動を通して社会参加することを支援する「就労継続支援事業」と、地域の「農業」が結びついたものです。障がいがある方が、農作物の生産等に携わることで社会参画を果たす一方で、少子高齢化により人材が不足する地域産業への一助になっている取組ですが、実際には、それ以上の効果が生まれているようです。

農業 × 福祉

互いのメリットを生かし、Win-Winの関係を：



いずみ ひでかず

泉 秀和 園長にお話しを伺いました

当園は、就労継続支援B型作業所で利用者数は23名です。利用者には、それぞれの得意分野に応じて畑仕事や農作物の袋詰めなどの作業をしてもらっています。

自然と触れ合う作業は、利用者の身体面・精神面に良い影響を与えており、以前は、家にひきこもりがちで食も不安定だった方が、畑仕事に精を出すことで心身ともに健康になった例もあります。

また、地域のミカン農家から箱詰め作業を依頼されるなど、「農福連携」により、地域との関わりやつながりが広がっているように感じます。



近年は農作物の出荷・販売も好調で、利用者への賃金を増やすこともできています。

今後も、利用者の生活の質の向上を目指して頑張っていきます。



たけもと まさみ

早月農園利用者 竹元 正美 さん

これからもっと活動の場を拡げ、地域の方々と関わる機会を増やしていきたいです。そして、早月農園を知らない人たちに、私たちの活動をPRしていきたいです。



竹元さんは、早月農園を利用して10年以上。主に野菜類の袋詰めなど屋内での作業を担当するとともに、定期的に地域の施設や事業所にパンを販売(※)しています。
(※同法人が経営する「カフェ&ベーカリーオーリーブ」が運営)



花王株式会社では、「障がいのある人もない人も共に働き、共に生きる社会を目指して、障がいがある社員も働きやすく、働きがいのある職場環境をつくる」という基本方針を掲げ、1970年代より障がい者雇用等をはじめとする障がいのある社員の活躍推進活動を行っています。そして、2020年に社会福祉法人スミヤが運営していた障がい者支援施設の工場を譲り受け、花王株式会社和歌山工場和佐グループとして運営を開始しました。



障がいの有無にかかわらず、個人の希望やスキルに合った仕事において活躍できる社会を構築していく共生社会の実現には、多様な人材を雇用する企業の存在と協力が不可欠です。企業による障がい者雇用をはじめ、CSR(企業の社会的責任)の観点から、環境問題・人権問題・地域への貢献活動等、福祉分野と大きな関わりが持たれています。

企業×福祉

誰もが暮らしやすく、働きやすい社会を...



interview

和佐グループの西本課長・中出さんにお話を伺いました。

作業を行ううえでの「安全面の配慮」について、和佐グループ社員からいつも気づきをいただいています。私たちが十分に対応しているつもりでも、まだ安全に関してもっとできることがあるよと現場で働く社員の目線で提案をしてくれるので、その大切さに日々気づかされます。社員の意見や協力のおかげで、現場の改善も進み、社会福祉法人スミヤ様の「和佐福祉工場」時の1995年12月から現在までの約27年、安全操業を継続することができ、労働安全無災害記録日数が10,000日を超えることができました。

和佐グループでは、製品を詰める作業等、複数の工程に携わってもらっていますが、不良品等をいち早く発見してくれることもあり本当に助かっています。花王では、「褒める」文化を大切にしており、「頑張ってくれてありがとう」「細かいところに気がついてくれてありがとう」と御礼を言うとともに、「グッドジョブ賞」や“ファインプレー賞”などの表彰する機会も設け、一人ひとりのコミュニケーションを大切に、かつ働きがいのある職場環境づくりをととても大事にしています。

熱心に作業されています。
チームワークも抜群です。



花王では、和佐グループ全員に、迅速かつ平等に連絡が届くよう音声アプリを活用しています。



和佐グループ全員で楽しむ
スポーツ ボッチャ。
みんなで盛り上がります！！



和佐グループでは、精神的・経済的に自立できるようにと、現場の環境整備から、日々のコミュニケーションに至るまで、非常に細やかな配慮がなされています。
また、障がい者のための学生インターンシップの実施など、地域貢献に多大に尽力されています。



心がもった
製品の数々…



「×福祉」でもっと互いの個性・強みを発揮できる社会を…

地域の様々な動きに目を向けた時、人と人とのつながりや参加の機会を生み育む多様な活動を通して、これまでの血縁・地縁・社縁といった共同体とは異なる新たな縁が生まれています。その中には、特定の課題の解決を念頭に始まる活動だけでなく、参加する人たちの興味や関心から活動が始まり、それが広がったり横につながったりしながら関係性が豊かなコミュニティが生まれている活動もあります。

ファッション、スポーツ、IT、建築、食…今後も多くの分野で×福祉が進んでいくと思われませんが、大切なことは、どのような立場の人でも「等しく」、その人自身の実力や才能を判断したうえで、最適な役割に就き社会に貢献できる仕組みです。

本会も、多くの団体・企業と連携を図り、住みよい地域社会の実現に努めていきます。

令和4年度 和歌山県社協 事業報告・決算報告の概要

令和4年度は、「ともに生きる地域社会（わかやま）の実現をめざして『ふだんのくらしのしあわせをみんなの力でつくります』」をテーマとする第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の5カ年計画の初年度として、各事業に取り組みました。

重点目標である「社会的孤立への対応」では、新型コロナウイルス感染症にかかる生活福祉資金特例貸付に関する相談支援から見えてきた生活課題への対応等について、社会福祉協議会役員研修会等で県内実践事例の共有・普及に取り組みました。また、「相談支援・生活支援と権利擁護の充実」では、成年後見制度の利用を促進するため、専門的な助言を必要とする市町村及び市町村社会福祉協議会に対し、アドバイザーを派遣しました。そのほか、「自然災害への対応」では、災害ボランティアセンターの設置・運営の知識や経験を有する人材を育成するため「中核スタッフ養成研修」を実施したほか、「広域・同時多発災害対応訓練」を紀中エリア・日高川町で実施しました。また、全国的に整備が進められている「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム(DWAT)」の構築に向けて、県とともにその具体化に向けて協議を重ねました。

事業報告・決算報告の詳細は、本会ホームページをご覧ください。

一般会計 収支概要

(単位：円)

収 入		支 出	
会費収入	9,975,250	人件費支出	216,571,703
寄附金収入	4,240,797	事業費支出	355,096,683
経常経費補助金収入	234,126,200	事務費支出	22,440,099
受託金収入	85,259,452	退職共済事業支出	22,409,046
事業収入	23,551,813	助成金支出	23,437,132
退職共済預り金収入等	2,144,729,847	退職共済事業管理資産支出等	1,845,290,774
その他	57,510,695	その他	7,419,250
前期末支払資金残高	589,311,938	当期末支払資金残高	656,041,305
計	3,148,705,992	計	3,148,705,992

生活福祉資金会計関係 収支概要

(単位：円)

収 入		支 出	
経常経費補助金収入	26,585,000	人件費支出	45,675,874
貸付事業収入	160,516,864	事業費支出	167,371,193
積立資産取崩収入	9,825,758	事務費支出	32,894,401
貸付資金補助金収入	2,304,133,000	貸付事業支出	721,021,200
生活福祉資金会計繰入金収入	4,464,777,161	積立資産支出	4,232,767,000
その他	707,539	生活福祉資金貸付事務費会計繰入金支出	4,464,856,527
前期末支払資金残高	4,492,224,666	その他	13,293,811
計	11,458,769,988	当期末支払資金残高	1,780,889,982
		計	11,458,769,988

お問合せ先

総務企画部

総務経営班

TEL 073-435-5222

1992年に創設された「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」は社員等の寄付金に対して会社がその同額を加えるマッチングギフト制度が特長であり、社会福祉施設や社会福祉事業に寄付を続けておられます。

地域の福祉のために大切に活用させて頂きます。ご協力誠にありがとうございました。

お問合せ先
 社会福祉法人和歌山県共同募金会
 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
 TEL073-435-5231 FAX073-435-5232

赤い羽根 わかやま

メール info@akaihane-wakayama.or.jp
 HP https://www.akaihane-wakayama.or.jp/



令和5年5月31日(水)本会事務局にて
 右 三菱電機(株)冷熱システム製作所
 総務部長 前田 浩二様
 左 本会 事務局長 山西 毅治



三菱電機SOCIO-ROOTS
 基金様からの寄付金贈呈式に
 ついで！

県民の皆様方には、赤い羽根共同募金運動にご協力を賜り誠にありがとうございます。
 この度、三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルート)基金様から社会貢献活動の一環として赤い羽根共同募金にご寄付をいただきましたので、本会事務局にて関係者が出席して贈呈式を行いました。



“ほっとけやん”が これまでの原動力です

一般社団法人

はっし子えがおサポート

〔通称：ぽればれ〕

「子どもの貧困を解消したい。」という想いで令和元年に開設された「はっし子えがおサポート」の活動の幅は今も広がり続けています。今回、法人を設立された理事長の佐藤 昌吾さん、理事の船井 真紀子さんにお話をお伺いしました。

〔Facebook〕

<https://www.facebook.com/hashipole>

詳しい内容等については、こちらから是非お問合せください。

TEL0736-26-8454

メール:hashipole@gmail.com



子どもたちの「今」を守りたい

のどかな雰囲気漂うこの町でも子どもの7人に1人が貧困状態であることに驚きました。子どもの貧困は、健全な成長に必要な生活環境や教育の機会に影響を及ぼします。そこで、今「苦しんでいる子どもたちの力になれたら」と考え、3年を目標に「子ども食堂」と「学習支援（小学生対象）」を始めました。法人設立5年目となった現在、活動目的は子どもの貧困解消だけにとどまらず、みんなが安心して集まれる地域づくりへと広がっています。

ニーズがあれば始めてみる

学習支援に中学生部門を増やし、コロナ禍で子ども食堂ができなくなっているから、フードパントリーや配食サービスを

始めるなど、状況の変化に対応しています。また、4月からは子どもと保護者を対象とした子ども食堂を、近所のおじいちゃん、おばあちゃんも集まって交流できる「地域食堂」へリニューアルしました。困りごとに気づくと「ほっとけない」精神が溢れだし、困りごと解消のためにどのようにすればよいかを考え、まずはやってみることを大切にしています。そのため活動メニューが増えていきますが、活動が必要とする方がいる限り、辞めることはしたくありません。増え続ける活動は、行政、橋本市社会福祉協議会、地域のボランティアの協力のおかげで続けられています。

ふらっと立ち寄れる暖かみのあるみんなの家

活動を継続することは簡単ではありませんが、誰もが気軽に「ちょっと寄っていこう」と集まれる場所になればいいなと思っています。地域のみんが思い、思われる、そんな地域になることが理想です。これからも子どもから大人まで、みんなが楽しかったな、また来たいなと思ってもらえるように楽しみながら活動を続けていきます。ちよっと寄っていきませんか。



老人福祉施設及び介護保険施設等を利用されている方々による
令和5年度「ふれあい作品展」
出品作品を募集中です

開催 11月25日(土)～11月28日(火)午前10時～午後5時
会場 和歌山ビッグ愛 1階「展示ホール」

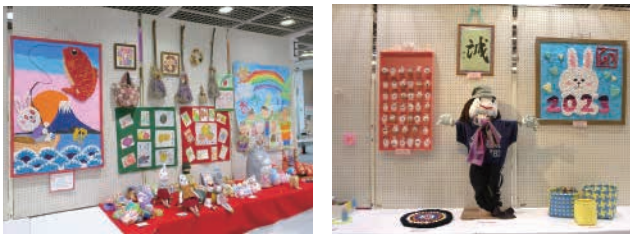
【作品の募集】

●**出品者資格** 県内の老人福祉施設及び介護保険施設等利用の方申込者は県内老人施設及び介護保険施設等の設置法人(個人および共同で制作された未発表作品)

●**申込期限** 9月29日(金)
 (申込様式は、ホームページからダウンロードできます。)

【お問合せ・申込先】

いきいき長寿社会センター(県社協内)
 TEL073-435-5214 FAX073-435-5221



今月の情報発信コーナー

福祉人材キャリア形成支援研修 申込受付中

研修名	開催日時	会場	受講申込期限
社会福祉法人の 会計研修(初任者編)	8月3日(木) 8月8日(火)	和歌山 ビッグ愛 オンライン (併用)	7月13日(木)
社会福祉法人の 会計研修(実務編)	どちらも 10:25～16:00		
アンガーマネジメント 研修	8月17日(木) 10:25～15:30	和歌山 ビッグ愛	7月27日(木)
児童の権利擁護・虐待 防止研修	8月29日(火) 10:25～16:00	和歌山 ビッグ愛	8月8日(火)
人材確保支援研修	9月5日(火) 10:25～16:00	和歌山 ビッグ愛	8月15日(火)

※研修の受講には、受講料がかかります。
 ※定員(先着)になり次第締め切ります。
 ※会計研修は、別途テキスト代がかかります。
 ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。
 ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。直接お問合せください。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止になる場合があります。



【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
 TEL073-435-5210

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
 (ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
賠償責任補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL:03(3349)5137
 受付時間:平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

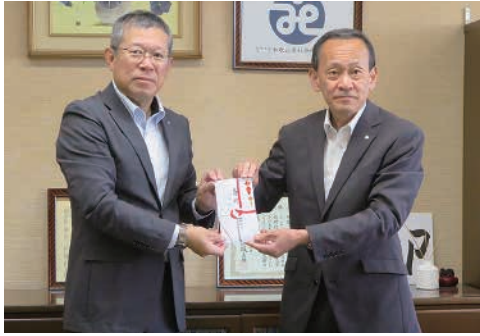
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL:03(3581)4667
 受付時間:平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

ご寄附ありがとうございます。

第94回メーデー
和歌山県中央実行委員会 様

地域福祉向上のためにとご寄附いただきました。
心から御礼申し上げます。

日本労働組合総連合会和歌山県
連合会 山本会長(写真左)
県社協 南木常務理事(写真右)



2023 夏のボランティア
体験月間のご案内

7月8月は、夏の期間を利用して、多くの方々にボランティア活動を体験していただく月間です。

県内各地の福祉施設、団体、社会福祉協議会などのご協力により、ボランティア活動をより気軽に、身近に体験できるプログラムを、本会ホームページやグループカレンダー(QRコード)で公開しています。(ボランティア体験プログラム企画も募集中です)

この夏、あなたもボランティア活動に参加してみませんか。

お問合せ先: 県社協・県ボランティアセンター(県社協内)
和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛7階

TEL 073-435-5220

MAIL waken-vc@shakyo.com



手づくり家庭の味!

「もぐもぐごはんかめのこ」のお惣菜



NPO法人かめのこ会
就労継続支援B型事業所
「ワークステーションかめのこ」は、お惣菜をメインに販売する「もぐもぐごはんかめのこ」を令和4年10月にオープンしました。



メニューは日替わりで、調理師監修のもと、栄養バランスや毎日食べても飽きないようメニューを考案しています。調理の仕込みに携わっている利用者さんは、地域の方々が買っていただく姿をみることで、モチベーションアップにつながっています。

本日の1品にいかがですか?



NPO法人 かめのこ会

製造 ワークステーションかめのこ
(就労継続支援B型事業所)

販売 もぐもぐごはんかめのこ

住所 和歌山市中之島1280

TEL 073-424-5303

営業日 火曜・水曜・木曜 12:00~



県内2会場で「福祉・介護・保育の就職フェア」を開催します

令和5年度 第1回
福祉・介護・保育の就職フェアわかやま

会場: 和歌山ビッグ愛1階 大ホール(和歌山市手平2-1-2)

日時: 7月15日(土) 13:00~16:00(受付12:30~)

お問合せ先: 県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
TEL073-435-5211 FAX073-435-5209



令和5年度 第1回
福祉・介護・保育のしごとフェア(田辺市)

会場: ガーデンホテルハナヨ ハナヨアリーナ
(田辺市文里2-36-40)

日時: 8月12日(土) 13:00~15:30(受付12:30~)

お問合せ先: 紀南福祉人材バンク
TEL0739-26-4918 FAX0739-26-2928



求人事業所の採用担当者と、直接またはオンラインで面談できます。

